

学校だより



埼玉大学教育学部附属特別支援学校
平成30年度学校通信 No. 3
平成30年7月19日



一学期をふり返って

校長 戸部 秀之

7月に入り暑い日が続いていますが、子ども達の毎朝のあいさつの声には意欲があふれエネルギーを感じます。いよいよ一学期が終わり、子ども達の待ちに待った夏休みが始まります。この間、保護者の皆さまにはご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

また、地震や豪雨といった自然災害のニュースが多い一学期でもありました。自然のエネルギーに圧倒させられずにはいられません、しっかりと備えをすることが大切です。本校でもさまざまな可能性を踏まえて避難訓練を行い、毎年見直しを図っているところです。ぜひご家庭でも不測の事態を想定した対応について、いま一度ご確認いただけるとありがたいと思います。そのような中、校内の非常用備蓄等につきまして PTA の皆さまには大変ご協力いただき、あらためてお礼申し上げます。

一学期を振り返ってみましょう。入学式、運動会や林間学校、修学旅行など大きな学校行事がありました。

まずは入学式です。可愛らしい小学部1年生、制服を着て少しお兄さんお姉さんなった中学部1年生、頼もしさを増した高等部1年生を迎え、新しい仲間とすぐにうちとけました。明るく楽しい関係をすぐに作れるのは、本校の子ども達のすばらしいところです。

5月の運動会では、子ども達は一生懸命に練習した成果を発揮し、いきいきした演技と力強い競技を見せてくれました。競い合い、協力し、応援することを心から楽しんでいる姿に感動しました。保護者の皆さまや地域の皆さまなど大勢の方々が見守ってくださることで、「力を発揮したい」という子ども達の意欲が一層高まったと思います。

中学部・高等部の林間学校、高等部3年生の八丈島への修学旅行も無事終了しました。ご家庭のご協力、ありがとうございました。私は高3の修学旅行の引率をしましたが、生徒は埼玉とは大きく異なる自然、食、文化、伝統に触れ、感心したり、驚いたり、たくさんのことを学んでくれたと思います。その中で私が感じたのは、高3の8人の生徒みんなが「支えあい、認め合う仲間」であったということです。仲間がいたからこそ素晴らしい修学旅行になったのだと思います。



人が意欲的に物事に挑戦するには「認め合う人間関係」の中で「自分の力を発揮できる」ことが大切であるといえます。私は、日々の授業や学校行事、休み時間などで子ども達と触れあうことをいつも楽しみにしていますが、子ども達には日々の学びの中で、そのような体験を一つ一つ積み上げ、自分らしい土台を築いてもらいたいと思っています。また、それができる学校でありたいと思っています。そして、その土台を基盤にさらに子ども達が成長してくれることを楽しみに、本校の教職員も力を合わせていきたいと思っています。

子ども達には楽しみな夏休みが始まります。生活習慣を整え、暑さに負けず、新しいことに挑戦する夏休みにしてほしいと願っています。

*日進駅前通り（七夕通り）が、7月25日から一方通行になるという連絡が入りました。

車の流れ等、これまでとは異なる流れになることが予想されますので、登下校の安